



部垂城跡縄張図 (作図: 青木義一『図説茨城の城郭』より)

# 部垂城跡とその周辺 現況調査図

原図 1:5000「大宮町IX-HF92・93」  
 (1998年3月修正)

凡例  
 部垂城跡周辺の小字名を「古城」のように示した。  
 なお、小字境は『土地宝典』(株式会社総和、1983)を基にし、その概要を示した。  
 城跡や寺社などは部垂城跡のように示した。  
 寺社の範囲は■で、高和田河岸の範囲は■で示した。また、城跡の範囲に関わる小字の範囲を■で示した。街道は—で示し、河川は—で示した。  
 近世部垂宿の木戸跡を『北郡里程間数之記』(加藤寛齋著)より推定した。また、木戸を●で示し、その内側の町(宿)に関わる小字の範囲を■で示した。

発行 平成21年(2009)11月1日  
 茨城大学人文学部  
 編集 茨城大学中世史研究会(担当 牡丹健一)